

LIGHT UP ROTARY

半田南ロータリークラブ ●創立：1980.2.12 ●認証：1980.2.25

■会長／榊原 肇 ■幹事／岩部 雅人 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546



- 司 会 S. A. A 杉山 知子君
- ソングリーダー 杉山 知子君
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
「四つのテスト」
- ピアノ 中田美由紀さん
- ゲスト 半田災害支援ボランティア・コーディネータの会
会 長 廣江 好矩様
副会長 加藤 幸弘様
- ビジター 半田RC 会 長 青井 雅純君
幹 事 榊原 明美君
鈴村せつ子君

会長挨拶

会 長 榊原 肇君



「ロータリーの目的は何ですか」という質問に、即座に適切な回答を返す人は殆どいません。

「一人一業種で選ばれた裁量権を持った職業人と専門職種の人が、毎週1回の例会に集まって・・・」とロータリーの原理原則を説明する人もいるでしょうし、職業奉仕を説く人、人道主義的な奉仕活動を説明する人もいます。いろいろな角度からロータリーのことを説明しているうちに、質問をした人も、答える人もいい加減減つたかと思ってしまうというのが実際のところではないでしょうか。

法さえ犯さなければ、如何なる手段を駆使しようとも、大金を手中にした者が成功者としてもはやされる、極端ともいえる自由主義経済の下でロータリーは出発しました。大都会で事業を営む実業家にとっては、周囲にいる同業者はすべてライバルであり、僅かな隙でも見せようものならば、寄って集って引きずり落とされる競争社会の中では、誰一人として信用できる人はなく、孤独感と、いつこの自由競争の落伍者になるのかという恐怖感に苛まれていました。

そんな中であって、胸襟を開いて、心から打ち分け合っ
てどんなことでも語り合える友人を得るために創られた
のがロータリークラブです。

従って、ロータリー創立当初の最も重要な目的は会員同
士の親睦を深めることでした。ロータリーの一人一業種
制に基づく職業分類制度は、親睦を阻害する要素となる
同業者を排除するために設けられた制度であり、やがて
この異業種の組織を利用して、お互いの事業を活用した
物質的相互扶助によって事業を発展させる方策がとら
れるようになりました。

1906年1月、ポール・ハリス、マックス・ウルフ、チャ
ールズ・ニュートンによってシカゴ・クラブの最初の定
款が起草された時点では、まだ「ロータリーの目的」は
存在しておらず、僅か二箇条に纏められた定款そのもの
が、「ロータリーの目的」を表わしていました。

<シカゴ・クラブ定款1906年1月制定>

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大
 2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進
1. The promotion of the business interests of its members.
 2. The promotion of good fellowship and other desiderata ordinarily incident to social clubs.

「ロータリーの源流」より抜粋

●副幹事報告

●例会変更 (サイン受付あり)

- 4月6日(月) 知多RC 例会変更
- 4月9日(木) 大府RC 例会変更
- 4月24日(金) 常滑RC 例会変更

委員会報告

●出席委員会

第1679回例会 3月31日(火) 天気(晴)

本日の例会は30名の出席にて、出席率は88.24%です。
なお、前々回は6名のメーキャップにて100%に訂正し
ます。

●Smiling Box

青井 雅純君 地区大会のお礼に参りました。お手伝いいた
(半田RC) だけありがとうございます。半田RCの
メンバーはやっと終わって当分の間は何
もしたくない…とボ～としてます。

榎原 明美君 (半田RC) 地区大会では大変お世話になりました。
 永田 明世君 石川、鈴木、川澄君にお世話になりました。楽しい2日間でした。私的には、かなりへこんだ2日間でもありました。
 竹内 俊郎君 先々週と先週、嬉しい事、涙する事が有りました。
 石川 勝彦君 我家の桜 (ソメイヨシノ) が咲き、今年から夜間ライトアップを始めました。幸せな日々感謝！
 榎原 英君 先日の広報委員長会議の講演者は、東京恵比寿RC所属、公共イメージコーディネーター、ロータリー親善大使をやっている司葉子さんでした。前の方の席でしたので良かったのか悪かったのか。



近藤 敏通君 遅刻しました。早退します。
 合計7名 14,000円



スピーカー 半田災害支援ボランティア
 コーディネーターの会
 会長 廣江 好矩様
 演 題 「RCC活動報告」

半田災害支援ボランティア(VC)の会 広報誌
タンポポ便り
 ロータリー地区共同部
 発行 半田災害支援 VCの会
 編集 廣江 好矩
 2015.3.19 第73号
 活動連絡先 090-6336-1035
 広報担当 藤田 早苗
 連絡先 Fax: 0669-22-2243
 Mail: info@rc-komura.jp

1月25日(日) VCの会は、半田市総合的災害対策ボランティア支援本部となるクラシティ半田で半田市社会福祉協議会、クラシティ半田ビル関係者と連携して、支援本部の立ち上げ訓練を行い、場所の使い勝手等課題の洗い出しを行いました。

2月4日(水) 半田中学校1年生67名を対象に避難所運営ゲーム(HLSG)を行いました。実際に避難所運営所になる事を想定して、生徒たちは真剣に取り組めました。

2月21日(土) 12月に完成したばかりの半田市庁舎、大会議室で災害ボランティアコーディネーター養成講座を21名の参加者で開催しました。今般で受講者の累計は703名となりました。

3月6日(金) 宮北小学校3年生115名を対象に防災教室(防災意識の啓蒙)を行いました。宮北小学校では全年齢が防災教室を開催しています。

例えば、其れに住むなら車手と車を併用して地域の車対に参加すること等、幸田町は田園都市を目指す。

伊豆半島沖地震の被災地、浜井市は、津波の被災地を定する事と面積の12%~14%が対象になる。指定により避難場所が下がる住居の再見と世帯からの建設の助金は、狭い面積に住む人が大半を出すことになり、この兼ね合いが難しい。モデルターを築いた名古屋大学の福和伸夫教授から、静岡県の取り組みは選んでいる。浜井市の課題は、全国の事例になるので頑張ってほしいとの意見があった。

まとめとして、東京大学の村山真人教授から「地震・震災直後に進むべきづくりのガイドライン」の紹介と本日発表して頂いた市町の特性を学び合うことの大切さ、広域的な役割分担の必要性が説かれた。

福和先生からは、地域の特性は異なり、そこで、さまざまな施策を実施して被害を少なくしていくには、力の結集が重要。並、前から学区まで縦つなげ、地域や、家・学・官等の横つなげ、これらが震災前に課する事、震中に課する事、後に課する事を日常化し地域の活性化を進めて行くことで新しい世界、新しい日本が築かれることを願っている。

上記のガイドラインは、下記URLから検索してください。
http://www.cdr.mlit.go.jp/kansai/jutaku_saitaka_eakelines_h2602.htm

募集とお知らせ **みなさん！まっまへす！**

活 3/20(金) 13:30~16:00 防災訓練
 「あなたの思いやりが災害軽減を助ける」 南郷ホール
 動 3/28(土) 19:00~ VC総会 南郷ホール
 予 定

次号発行予定
 第74号 5月21日(木)発行
 印刷は5月8日までお願いいたします。
 寄金が済ましたら一緒に印刷いたします。

~つぎの~
 日本の将来人口推計では、2040年に現在の70%に減り896の自治体が消滅可能都市に当たるそうです。半田市の人口は2040年に11万2千人と推計されています。対策が取られて、人口が増えるのは60年ほどです。どんな状況が待っているのでしょうか。

この機関誌は、半田東ロータリークラブ、株式会社七重製菓の協力を得て発行しました。

次回の例会
 第1681回例会 半六プロジェクト
 NPO法人 半六コラボ代表 杉浦明巳様
 4月21日(火) 於 半田商工会議所